

KC-80



KC-200



取扱説明書

キーボード・アンプ

KC-80

KC-200

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

主な特長

KC-80、KC-200 は、キーボードやサウンド・モジュールなど、さまざまなソースに対応する、高音質設計のキーボード・アンプです。

- スピーカーとツイーターによる 2 ウェイ方式を採用しています。

	スピーカー	出力
KC-80	25cm	50W
KC-200	30cm	100W

- 入力部に、ミキサー (KC-80:3 チャンネル、KC-200:4 チャンネル) を搭載しています。CH1 は XLR 端子を装備し、マイク入力にも対応します。KC-200 の CH4 は、ステージ・モニターに便利なモニター専用チャンネルになっています。
- SUB OUT を装備しています。パワード・サブウーファーを接続すると、さらに迫力ある低音再生ができます。
- オーディオ・プレーヤーなどを手軽に接続できる 2 種類の AUX IN 端子 (RCA ピン・タイプ、ステレオ・ミニ・タイプ) を装備しています。
- 音質補正に便利な 2 バンド・イコライザーを装備しています。
- モニターや小規模 PA に便利な、スピーカー・スタンドを取り付けることができます。
- 夜間のモニターに便利な、ヘッドホン端子を装備しています。

安全上のご注意

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」(P.2)と「使用上のご注意」(P.3)をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

© 2017 ローランド株式会社

マークについて 本機に表示されているマークには、次のような意味があります。

	注意 感電の恐れがあります。 キャビネットを触らないでください。	
<p>注意：感電防止のため、パネルやカバーをはずさないでください。本機の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。</p> <p>修理は、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに依頼してください。</p>		

 このマークは、本機の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。

 このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

火災・感電・傷害を防止するには

△警告と△注意の意味について

	警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
	注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。
<p>※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表示しています。</p>		

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表しています。具体的な注意内容は、△の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を表しています。具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
	●は、強制（必ずすること）を表しています。具体的な強制内容は、●の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

----- 以下の指示を必ず守ってください -----

警告

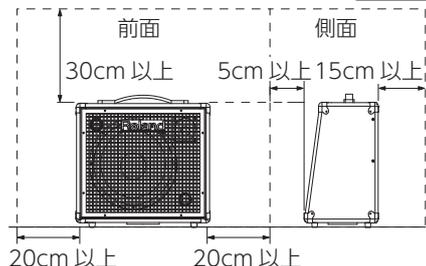
完全に電源を切るときは、コンセントからプラグを抜く

電源スイッチを切っても、本機は主電源から完全に遮断されていません。完全に電源を切る必要があるときは、本機の電源スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、本機にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。



スペースを確保して設置する

本機は多少発熱するため、下記のスペースを確保して使用してください。



分解や改造をしない

取扱説明書に書かれていないことはしないでください。故障の原因になります。



個人で修理や部品交換はしない

必ずお買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。



警告

次のような場所で使用や保管はしない

- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- 湯気や油煙が当たる場所
- 塩害の恐れがある場所
- 雨に濡れる場所
- ほこりや砂ぼこりの多い場所
- 振動や揺れの多い場所
- 風通しの悪い場所



指定のスタンドを使用する

本機の設置には、ローランドが推奨するスタンド（型番：ST-A95）を使用してください（P.6）。



不安定な場所に設置しない

本機の設置にスタンド（型番：ST-A95）を使用する場合、ぐらつくような場所や傾いた場所に設置せず、安定した水平な場所に設置してください。機器を単独で設置する場合も、同様に安定した水平な場所に設置してください。



スタンドへ設置するときの注意

取扱説明書の指示どおりに設置してください（P.6）。



正しく設置しないと、不安定な状態となって落下や転倒を引き起こし、けがをする恐れがあります。

電源プラグは AC100V の電源コンセントに差し込む

電源プラグは、必ず交流（AC）100V の電源コンセントに差し込んでください。



警告

付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。



電源コードを傷つけない

火災や感電の原因になります。



大音量で長時間使用しない

大音量で長時間使用すると、難聴になる恐れがあります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。



異物や液体を入れない、液体の入った容器を置かない

本機に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。また、この機器の上に液体の入った容器（花びんなど）を置かないでください。ショートや誤動作など、故障の原因となることがあります。



異常や故障が生じたときは電源を切る

次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに修理を依頼してください。



- 電源コードが破損したとき
- 煙が出たり、異臭がしたりしたとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- 機器が（雨などで）濡れたとき
- 機器に異常や故障が生じたとき

お子様がけがをしないように注意する

お子様のいる場所で使用する場合やお子様を使用する場合、必ず大人のかたが、監視/指導してあげてください。



落としたり、強い衝撃を与えたりしない

破損や故障の原因になります。



タコ足配線はしない

発熱、発火する恐れがあります。



海外でそのまま使用しない

海外で使用する場合は、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。



電源コードのアースを確実に取り付ける

電源コードのアースを確実に取り付けてください。感電の恐れがあります（P.5）。



警告

通気口を塞がない

新聞紙、テーブルクロス、またはカーテンなどで、本機の通気口を塞がないでください。



火の付いているものを置かない

本機の上に火の付いているもの（ロウソクなど）を置かないでください。



注意

指定のスタンドのみ使用する

本機は当社製のスタンド（ST-A95）とのみ、組み合わせて使用できるよう設計されています。他のスタンドと組み合わせて使うと、不安定な状態となって落下や転倒を引き起こし、けがをする恐れがあります。



スタンドを使う前に安全を確認する

取扱説明書に記載の注意事項が守られていても、取り扱いによってはスタンドから本機が落下したりスタンドが転倒したりする可能性があります。使用にあたっては事前に安全を確認した上でお使いください。



電源コードはプラグを持って抜く

断線を防ぐため、必ずプラグを持って電源コードを抜いてください。



電源プラグを定期的に掃除する

電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりがたまると、火災や感電の原因になります。



定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でゴミやほこりを拭き取ってください。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

万一故障したとき、火災の原因になります。



注意

電源コードやケーブルは煩雑にならないように配線する

足に引っかけると、本機の落下や転倒などにより、けがの原因になることがあります。



上に乗ったり、重いものを置いたりしない転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない感電の原因になります。



移動するときはすべての接続をはずす

本機を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、外部機器との接続をはずしてください。



お手入れするときは電源プラグをコンセントから抜く

コンセントから抜いておかないと感電の原因になります。



落雷の恐れがあるときは電源プラグをコンセントから抜く

コンセントから抜いておかないと故障や感電の原因になります。



使用上のご注意

電源について

- 本機を、インバーター制御の製品やモーターを使った電気製品（冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなど）と同じコンセントに接続しないでください。電気製品の使用状況によっては、電源ノイズで本機が誤動作したり、雑音が発生したりすることがあります。電源コンセントを分けることが難しい場合は、電源ノイズ・フィルターを取り付けてください。

設置について

- 本機の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えてください。
- 本機の近くで携帯電話などの無線機器を使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、無線機器を本機から遠ざけるか、電源を切ってください。
- 至近距離から照らす照明器具（ピアノライトなど）や強力なスポットライトで長時間同じ場所を照らさないでください。変形、変色することがあります。
- 極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴が付く（結露する）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になります。数時間放置して、結露がなくなってから使用してください。
- 本機にシールなどを貼らないでください。はがす際に外装の仕上げを損なうことがあります。
- 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。

- 本機の上に液体の入った容器などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

お手入れについて

- 変色や変形の原因となる、ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

修理について

- お客様が本機または付属品を分解（取扱説明書に指示がある場合を除く）、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合があります。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ケーブルを抜くときは、ショートや断線を防ぐため、プラグ部分を持って引き抜いてください。
- 本機は多少発熱することがありますが、故障ではありません。
- 周囲に迷惑がかからないように、音量に十分注意してください。

- 本機が入っていた梱装箱や緩衝材を廃棄するときは、各地域のゴミの分別基準に従ってください。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

知的財産権について

- Rolandは、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

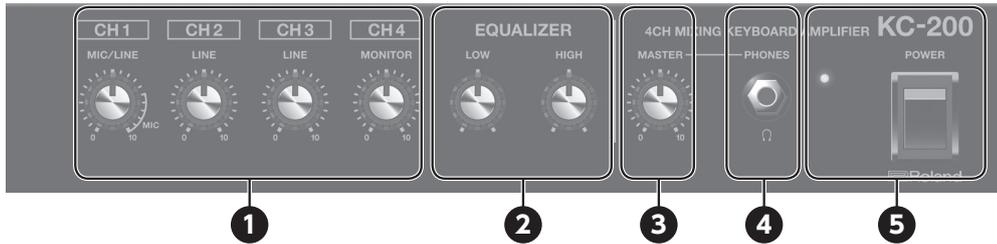
Português

Nederlands

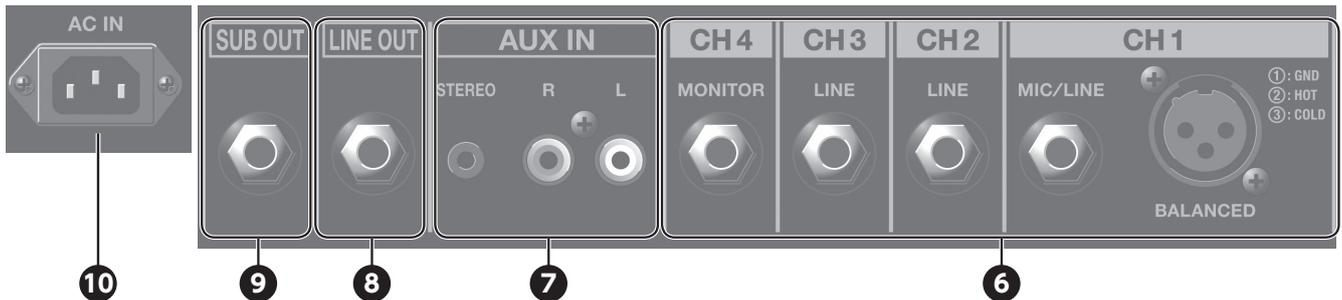
各部の名称とはたらき

※ 図は KC-200 です。KC-80 には CH4 (MONITOR) つまみと、CH4:MONITOR 端子はありません。

トップ・パネル



リア・パネル



1 [CH1] ~ [CH4] つまみ (KC-80 は [CH1] ~ [CH3] のみ)

CH1 (XLR 端子、MIC/LINE 端子)、CH2 / CH3 (LINE 端子)、CH4 (MONITOR 端子) に接続された機器の音量を調節します。

2 EQUALIZER

[LOW] つまみ

低音域の音量を調節します。

[HIGH] つまみ

高音域の音量を調節します。

3 [MASTER] つまみ

全体の音量を調節します。
同時に SUB OUT 端子から出力される音量も調節します。
※ LINE OUT 端子から出力される信号は [MASTER] つまみで調節できません。

4 PHONES 端子

ヘッドホンを接続します。
音量は [CH1] ~ [CH4] つまみ、[MASTER] つまみで調整します。
※ この端子にプラグを接続したときは、本体スピーカーや、SUB OUT 端子に接続した機器からは音が出ません。夜間など、スピーカーから大きな音が出せないときに便利です。

5 [POWER] スイッチ

本体の電源をオン/オフします。電源をオンにすると、左側のインジケータが点灯します。

6 CH1 ~ CH4 入力端子

CH1 : BALANCED 端子、MIC/LINE 端子

CH1 は標準タイプの MIC/LINE 端子と、マイク接続に便利なバランス対応の XLR タイプ BALANCED 端子を装備しています。

マイク入力レベル (-50dBu) からサウンド・モジュールなどのライン入力レベル (-20dBu) までに対応しています。

※ CH1 BALANCED 端子のピン配置



CH2、CH3 : LINE 端子

キーボード、サウンド・モジュールなどの機器を接続します。入力レベルはライン (-20dBu) に対応しています。

CH4 : MONITOR 端子 (KC-200 のみ)

CH4 はモニター専用チャンネルです。CH4 に入力された信号はライン・アウトへは出力されず、本体スピーカーまたはヘッドホンからのみ出力されます。ステージなどでメイン PA からのトークバックに使用するときや、演奏者用モニターとして使用するとき演奏者だけがリズム・マシンなどのガイド音をモニターする場合などに便利です。

キーボード、サウンド・モジュールなどの機器を接続します。入力レベルはライン (-20dBu) に対応しています。

7 AUX IN (STEREO, R / L) 端子

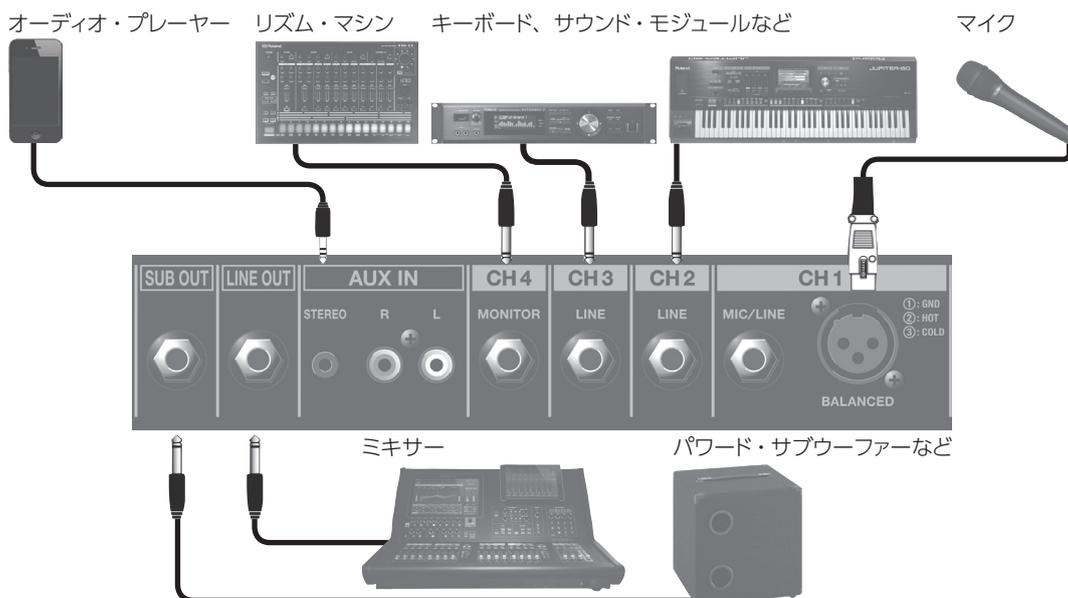
オーディオ・プレーヤーや、電子楽器などを接続し、自分の演奏と同時に鳴らすことができます。

8 LINE OUT 端子

ミキサーやレコーダーなどに接続します。

LINE OUT 端子からの出力は、フロント・パネルの各つまみで音量や音質の調整はできません。

接続例



※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

9 SUB OUT 端子

パワー・サブウーファーや、外部のパワー・モニターなどを接続することができます。SUB OUT 端子からの出力は、フロント・パネルの各つまみで音量や音質の調整ができます。

10 AC IN 端子

付属の電源コードを接続します。

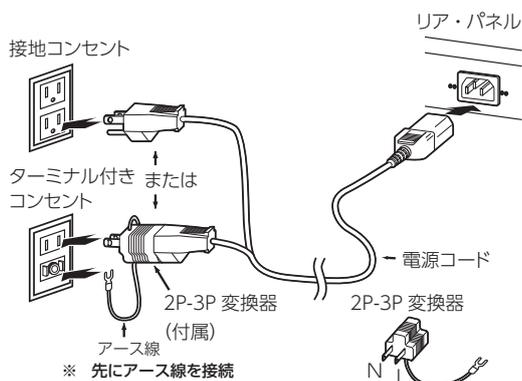
※ 電源コードは必ず付属のものを使用してください。

電源コードの接続



感電を防ぐために付属の電源コードを使用し、アースを確実に取り付けてください。

付属の電源コードには、感電と機器の損傷を防ぐためにアース用電極端子を加えた3端子のプラグがついています。



- コンセントが接地コンセント（端子穴が3個）の場合
そのままコンセントにプラグを差し込んでください。
- コンセントがアースターミナル付きコンセント（端子穴が2個）の場合
プラグに2P-3P変換器を付け、アース接続後コンセントに差し込みます。

⚠ 警告:

アースは必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に接続してください。また、アースは必ず、電源プラグをコンセントから抜いてからはずしてください。
コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店に接地工事を依頼してください。

電源を入れる／切る

※ 正しく接続したら、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。

1. 本機の [MASTER] つまみと、本機に接続されている機器の音量が、[0] になっていることを確認します。
2. 本機の入力端子 (CH1 ~ CH4, AUX IN) に接続されている機器の電源を入れます。
3. 本機の電源を入れます。
4. 本機の出端子 (LINE OUT, SUB OUT, PHONES) に接続されている機器の電源を入れます。
5. 各機器の音量を調節します。

電源を切るときは、接続している他の機器の音量を絞ってから、電源を入れるときと反対の手順で電源を切ります。

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

※ 完全に電源を切る必要があるときは、本機の電源スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。

詳しくは「完全に電源を切るときは、コンセントからプラグを抜く」(P.2) をお読みください。

各機器の音量を設定する

本機を最も良い音で演奏するために、以下の手順で音量を設定します。

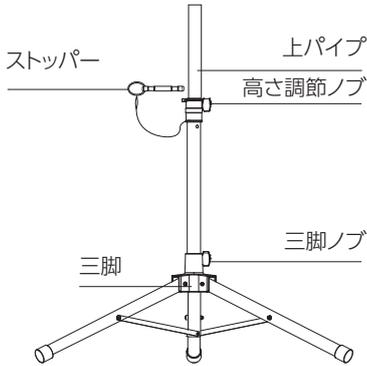
1. [CH1] ~ [CH4] つまみで、CH1 ~ CH4 に接続されている各機器の音量バランスを調節します。
AUX IN 端子に入力されている機器の音量は、接続されている機器側で調節してください。
2. [LOW] つまみ、[HIGH] つまみで、好みの音質に調節します。
3. [MASTER] つまみで、全体の音量を調節します。
音が歪むときは、[CH1] ~ [CH4] つまみ、[MASTER] つまみ、または、インプット (CH1 ~ CH4, AUX IN) に接続している機器の音量つまみを調整してください。

スピーカー・スタンドのご使用について

本機は、スピーカー・スタンド ST-A95（別売）を使用することにより、モニターや簡易 PA として、最適な高さに設置することができます。

スタンド ST-A95 への取り付けかた

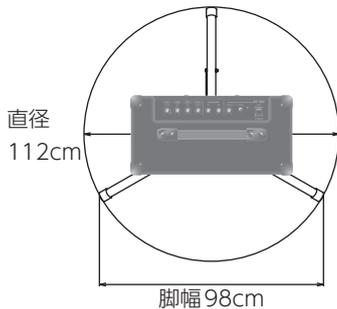
- ※ 本機をスピーカー・スタンドに取り付けたり、本機を取り付けたままスピーカー・スタンドの高さを調節したりするときは、必ず 2 人以上で作業してください。
- ※ 組み立てるときは、指をはさまないようにご注意ください。



1. 三脚ノブをゆるめ、三脚を開きます。

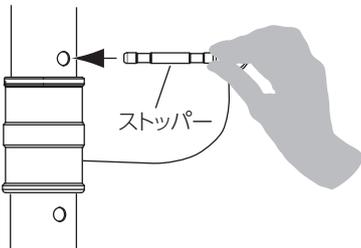
三脚を十分開いてから、三脚ノブを締めます。

- ※ 下図のように、三脚の先端の距離が 98cm になるまで開いてください。三脚の開き角度が狭いと安定性が悪くなります。



2. 高さ調節ノブをゆるめ、上パイプを伸ばします。

3. スタンドの高さが 140cm 以下で希望の高さになるよう、ストッパーを上パイプに差し込みます。



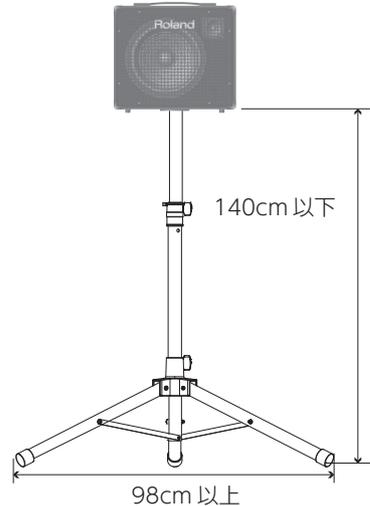
- ※ 必ず、ストッパーを差し込んだ状態で使用してください。

4. 高さ調節ノブを締めます。

5. 本機を上パイプへ差し込んで取り付けます。

警告

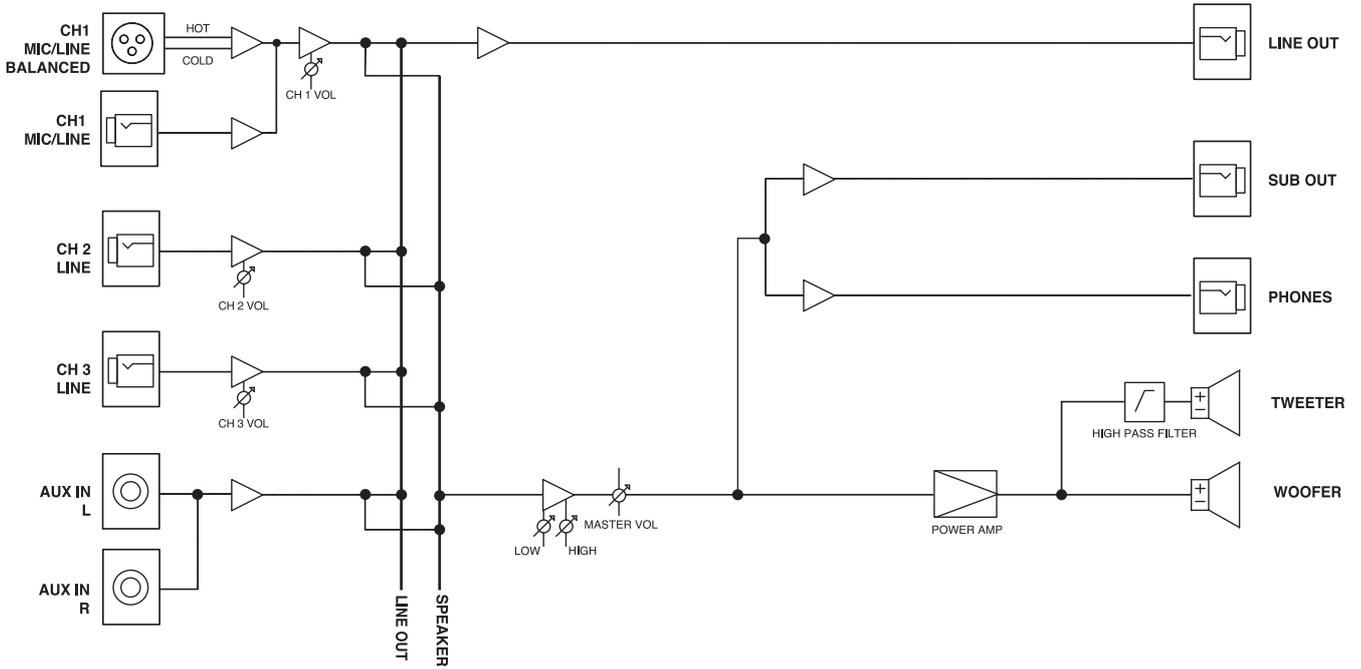
- 本機は、当社製のスピーカー・スタンド (ST-A95) とのみ、組み合わせて使用できるように設計されています。他のスタンドは使用しないでください。
- スピーカー・スタンドは、下図のように、高さ 140cm 以下、脚幅 98cm に調整してから使用してください。



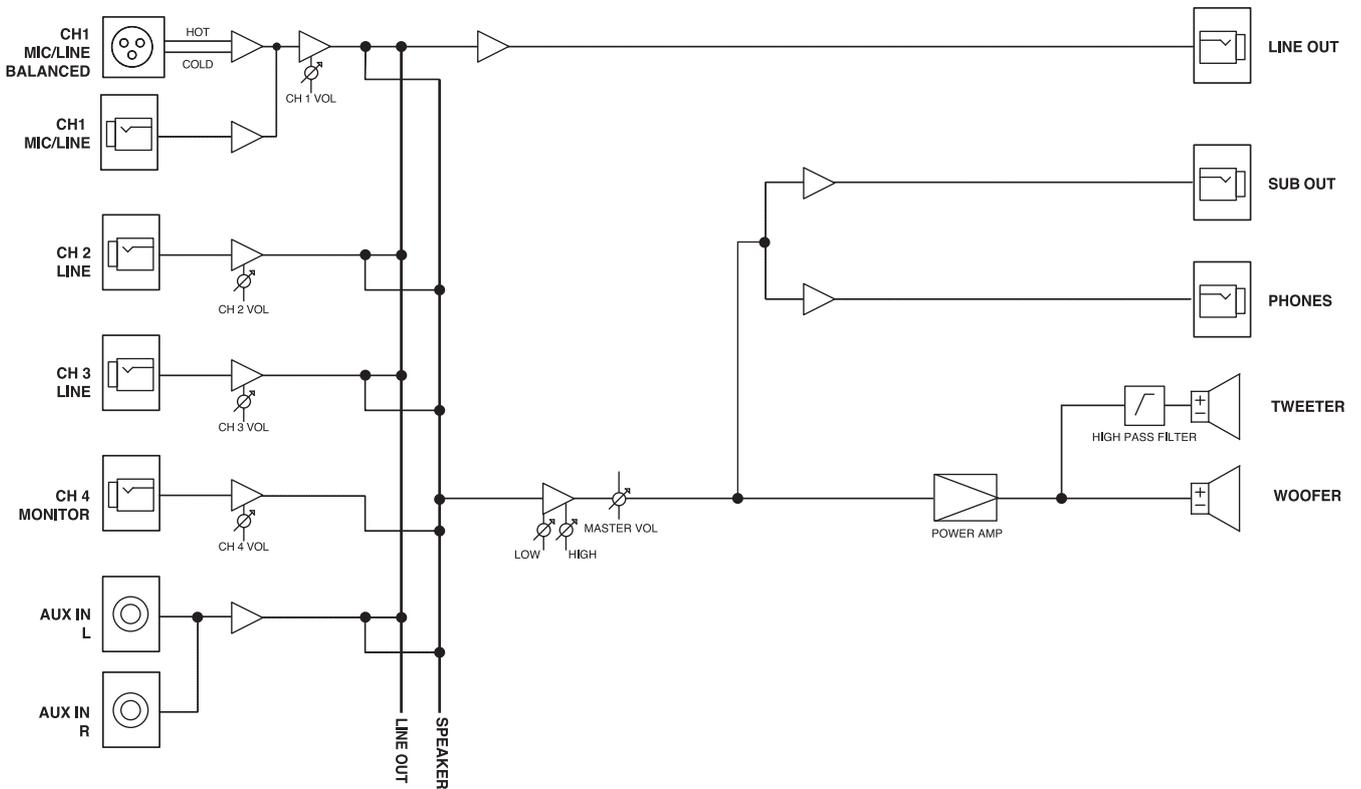
- スピーカー・スタンドを高さ 140cm 以上、脚幅 98cm 以下で使用すると、転倒による傷害や機器の破損などの原因になります。
- スピーカー・スタンドを使用して本機を設置するときには、ぐらついたところや傾いたところに設置しないでください。必ず安定した水平なところに設置してください。
- 本機に接続したケーブル類は、つまずきなどによる事故のないよう、十分な余裕を持って配置してください。
- 落下による事故を防ぐため、スピーカー・スタンドに取り付けた本機の上には物を載せないでください。

ブロック図

KC-80



KC-200



English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

主な仕様

ローランド KC-80 : 3チャンネル・ミキシング・キーボード・アンプ

ローランド KC-200 : 4チャンネル・ミキシング・キーボード・アンプ

	KC-80	KC-200
定格出力	50W	100W
規定入力レベル (1kHz)	CH1 (MIC/LINE) : -50 ~ -20dBu CH2 (LINE) : -20dBu CH3 (LINE) : -20dBu AUX IN (L, R, STEREO) : -10dBu	CH1 (XLRタイプ、MIC/LINE) : -50 ~ -20dBu CH2 (LINE) : -20dBu CH3 (LINE) : -20dBu CH4 (MONITOR) : -20dBu AUX IN (L, R, STEREO) : -10dBu
規定出力レベル	LINE OUT : +4dBu SUB OUT : +4dBu	
スピーカー	フル・レンジ : 25cm × 1 ツイーター : × 1	フル・レンジ : 30cm × 1 ツイーター : × 1
インジケーター	パワー	
接続端子	CH1 (MIC/LINE) 端子 : 標準タイプ CH2 (LINE) 端子 : 標準タイプ CH3 (LINE) 端子 : 標準タイプ AUX IN (L, R) 端子 : RCAピン・タイプ AUX IN (STEREO) 端子 : ステレオ・ミニ・タイプ LINE OUT 端子 : 標準タイプ SUB OUT 端子 : 標準タイプ PHONES 端子 : ステレオ標準タイプ (音声はモノ出力)	CH1 端子 : XLRタイプ CH1 (MIC/LINE) 端子 : 標準タイプ CH2 (LINE) 端子 : 標準タイプ CH3 (LINE) 端子 : 標準タイプ CH4 (MONITOR) 端子 : 標準タイプ AUX IN (L, R) 端子 : RCAピン・タイプ、ステレオ・ミニタイプ LINE OUT 端子 : 標準タイプ SUB OUT 端子 : 標準タイプ PHONES 端子 : ステレオ標準タイプ (音声はモノ出力)
電源	AC100V (50 / 60Hz)	
消費電力	50W	70W
外形寸法	420 (幅) × 300 (奥行) × 410 (高さ) mm	480 (幅) × 295 (奥行) × (高さ) 435mm
質量	12.5kg	15kg
付属品	取扱説明書 保証書 ローランド ユーザー登録カード	
別売品	スピーカー・スタンド (ST-A95)	

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

お問い合わせの窓口



ホームページをご覧ください

Q&A、チャットサポート、メール、電話でのお問い合わせ

Roland製品

https://roland.cm/roland_support



BOSS製品

https://roland.cm/boss_support



'21.04.01 現在